

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成20年8月14日 (2008.8.14)

【公表番号】特表2008-508117(P2008-508117A)  
 【公表日】平成20年3月21日 (2008.3.21)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-011  
 【出願番号】特願2007-523598(P2007-523598)  
 【国際特許分類】

B 4 3 L 1/08 (2006.01)  
 C 0 9 J 7/02 (2006.01)  
 C 0 8 F 290/06 (2006.01)  
 B 4 3 L 21/00 (2006.01)  
 G 0 9 F 3/02 (2006.01)

【 F I 】

B 4 3 L 1/08  
 C 0 9 J 7/02 Z  
 C 0 8 F 290/06  
 B 4 3 L 21/00  
 G 0 9 F 3/02 F

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年6月26日 (2008.6.26)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

乾燥消去上面および反対の底面を有する可撓性基材と、  
 前記底面の少なくとも一部の上に配置された接着剤と、  
 前記乾燥消去上面の少なくとも一部の上に配置された高分子剥離層と、  
を含む乾燥消去シートであって、前記高分子剥離層が  $25 \text{ mJ} / \text{m}^2$  以下の表面張力を有する溶媒によって湿潤可能であり、

前記高分子剥離層が前記乾燥消去上面の引き剥がし接着力値を  $25\%$  以上減らす、乾燥消去シート。

【請求項 2】

乾燥消去上面および反対の底面を有する複数の可撓性基材を含む乾燥消去パッドであって、各可撓性基材が、

前記底面の少なくとも一部の上に配置された接着剤と、  
 前記乾燥消去上面の少なくとも一部の上に配置された高分子剥離層と、  
を含み、少なくとも選択された上面が選択された底面に接触している乾燥消去パッドであって、前記高分子剥離層が  $25 \text{ mJ} / \text{m}^2$  以下の表面張力を有する溶媒によって湿潤可能であり、

前記高分子剥離層が前記乾燥消去上面の引き剥がし接着力値を  $25\%$  以上減らす、乾燥消去パッド。

【請求項 3】

前記高分子剥離層が ( i ) 非極性モノマーとシロキサンモノマーを共重合すること、又は ( i i ) 極性モノマー、非極性モノマーおよびシロキサンモノマーを共重合すること、

又は ( i i i ) 極性モノマー、非極性モノマーおよび ( C<sub>12</sub> - C<sub>22</sub> ) アルキル第一アルコールとアクリル酸またはメタクリル酸とのエステルを共重合することによって形成されたポリマーを含む請求項 1 または 2 に記載の乾燥消去シート又は乾燥消去パッド。